

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、2019年4月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 生命保険募集人・生命保険仲立人の登録をしていないFPが、生命保険契約を検討している顧客から相談を受け、顧客が死亡した場合における遺族の必要保障額の計算を有償で行った。
2. 弁護士資格を有していないFPが、離婚に伴う財産分与について係争中の顧客から相談を受け、報酬を得る目的でその顧客の代理人として離婚協議書の作成に係る法律事務を取り扱った。
3. 税理士資格を有していないFPが、参加費無料の相談会において、相談者の持参した資料に基づき、相談者が納付すべき相続税の具体的な税額計算を行った。

問2

下記は、広尾家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）に入る数値とその求め方として、最も適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

＜広尾家のキャッシュフロー表＞

（単位：万円）

経過年数		基準年	1年	2年	3年	
西暦（年）		2019	2020	2021	2022	
家族・ 年齢	広尾 優介	本人	38歳	39歳	40歳	41歳
	奈々子	妻	37歳	38歳	39歳	40歳
	凜太郎	長男	6歳	7歳	8歳	9歳
	友美	長女	3歳	4歳	5歳	6歳
ライフイベント			凜太郎 小学校入学	住宅購入		
	変動率					
収入	給与収入（夫）	1%	370			381
	給与収入（妻）	—	80	80	80	
	収入合計	—	450			
支出	基本生活費	1%	176		(ア)	
	住宅関連費	—	117	117		135
	教育費	—	42	45		
	保険料	—	32	32	32	32
	一時的支出	—			1,300	
	その他支出	—	10	10	10	10
	支出合計	—	377	382		410
年間収支			(イ)		▲1,237	51
金融資産残高		1%	1,462		327	(ウ)

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2019年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄としてある。

1. 空欄（ア）：「 $176 \times (1 + 0.01)^2 \div 180$ 」
2. 空欄（イ）：「 $377 - 450 = \blacktriangle 73$ 」
3. 空欄（ウ）：「 $(327 + 51) \times (1 + 0.01) \div 382$ 」

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記は、NISA（少額投資非課税制度）についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句として、最も不適切なものはどれか。

対象となる金融商品	上場株式、株式投資信託、（ア）等
口座開設	原則1人1口座
金融機関の変更	1年単位で可能
非課税投資枠	新規投資額で年間（イ）まで
非課税枠の未使用分	翌年以降に（ウ）

- 1.（ア）個人向け国債
- 2.（イ）120万円
- 3.（ウ）繰り越すことができない

問 4

下記<資料>に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、この企業の株価は13,500円であるものとし、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

年月【資本異動】	万株	【株式】 ¹⁰ / ₃₁ 298,142千株	【株主】 ¹⁰ / ₃₁ 55,172名<18.9>	1株	シコ工場増設、増産加速し安定供給企図。キ						
12.10	交換	14,507	永守重信 2,473(8.2)	万株	るため生産強化」新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
13.9	交換	14,507	日本トラスティ信託口 1,820(6.1)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
13.10	交換	14,507	日本マスター信託口 1,576(5.2)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
14.4	分1→2	29,015	京都銀行 1,239(4.1)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
14.10	交換	29,015	(株)エスエヌ興産 1,012(3.3)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
東証 88-16	高値	30000(99)	SSBTC・クライアント・オムニバス・アカウント 882(2.9)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
17	安値	16550(11)	三菱UFJ銀行 742(2.4)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
18.1-11	安値	18525(1)	日本生命保険 657(2.2)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
18.9	高値	16930	明治安田生命保険 640(2.1)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
10	安値	16685	日本トラスティ信託口5 469(1.5)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
#11	出来	14845	<外国>34.1% <浮動株>6.0%		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
【10年前比較】	営業利益	1倍	<投資>7.2% <特定株>40.0%		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
【四半期進捗率】	3期平均	49.3%*	【役員】		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
【業種】	電子部品・産業用電子機器		永守重信 御吉本 浩之 小部博志 片山幹雄 佐藤明 宮部俊彦 佐藤禎一* 清水治* (常監)田邊隆一* 村上和也 (欄外)		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
【比較会社】	6503 三菱電機		【連結】		【生産強化】新車向けに新工場を建設、増産に力を入れる。2019年3月期は前年比10%増産を計画している。						
【業績】(百万円)	売上高	営業利益	税引前利益	純利益	1株当り	1株当り	【配当】	配当金(円)	【本社】	601-8205京都市南区久世殿城町338 ☎075-922-1111	
○14.3*	875,109	85,068	84,664	56,404	207.3	50	17.3	45	【営業拠点】	京都、東京【研究開発拠点等】	京都
○15.3	1,028,385	111,218	107,371	76,216	272.3	70	17.9	45	2,滋賀,長野,神奈川2,海外2		
◇16.3	1,178,290	117,662	117,164	89,945	303.0	80	18.3	50	【従業員】	<18.9>連111,120名 単2,866名(39.5歳) 男663名	
◇17.3	1,199,311	140,331	142,278	111,721	376.7	85	18.9	50	【証券】	東京 翻(注)三菱Uモル(欄)日興,大和,野村,みずほ 図三井住友信 監PwC京都	
◇18.3	1,488,090	167,637	164,460	131,434	443.9	95	19.3	55	【銀行】	三菱U,京都,三井住友,滋賀,三井住友信,みずほ,八十二	
◇19.3	1,650,000	202,000	200,000	152,300	517.5	105	19.9	50	【仕入先】	—	
◇20.3	1,745,000	230,000	227,000	175,000	594.6	105~110	20.3	55~60	【販売先】	—	
申18.9	777,604	98,237	98,267	78,510	265.8	50	18.9	0.75%			
申19.9	820,000	110,000	110,000	84,000	285.4	50	18.9	—			
会19.3	1,600,000	195,000	187,500	147,000	(18.7.25)	3,435	(3.153)				

(出所：東洋経済新報社「会社四季報」2019年第1集)

- 2018年3月期における1株当たりの利益は443.9円である。
- この企業の株を1単元(1単位)購入するために必要な資金は135万円である。
- この企業の株を1単元(1単位)保有していた場合、2018年3月期における年間の配当金額(税引前)は5,000円である。

問5

下記<資料>に基づくS Z株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

[株式市場に関するデータ]

株式市場 (28日)

◇投資指標 (P E Rと配当利回りの太字は予想、カッコ内は) (前期基準、P B Rは四半期末基準、連結ベース)

	P E R (倍)	P B R (倍)	配当利回り (%)	
			単純平均	加重平均
日経平均採用銘柄	11.96 (11.59)	1.09	2.23(2.00)	
J P X日経400採用銘柄	12.82 (12.53)	1.27	1.93(1.80)	
東証1部全銘柄	13.27 (13.06)	1.16	2.03(1.94)	2.44 (2.38)
東証2部全銘柄	5.46 (6.07)	0.86	1.96(1.94)	1.57 (1.33)
ジャスダック全銘柄	12.95 (19.83)	1.24	1.75(1.75)	
株式益回り (東証1部全銘柄)			予想	7.53%
			前期基準	7.65%

(出所：日本経済新聞 2019年1月29日朝刊 22面)

[S Z株式会社に関するデータ]

株価	280円
1株当たり純利益 (今期予想)	27円
1株当たり純資産	310円
1株当たり年間配当金 (今期予想)	9.5円

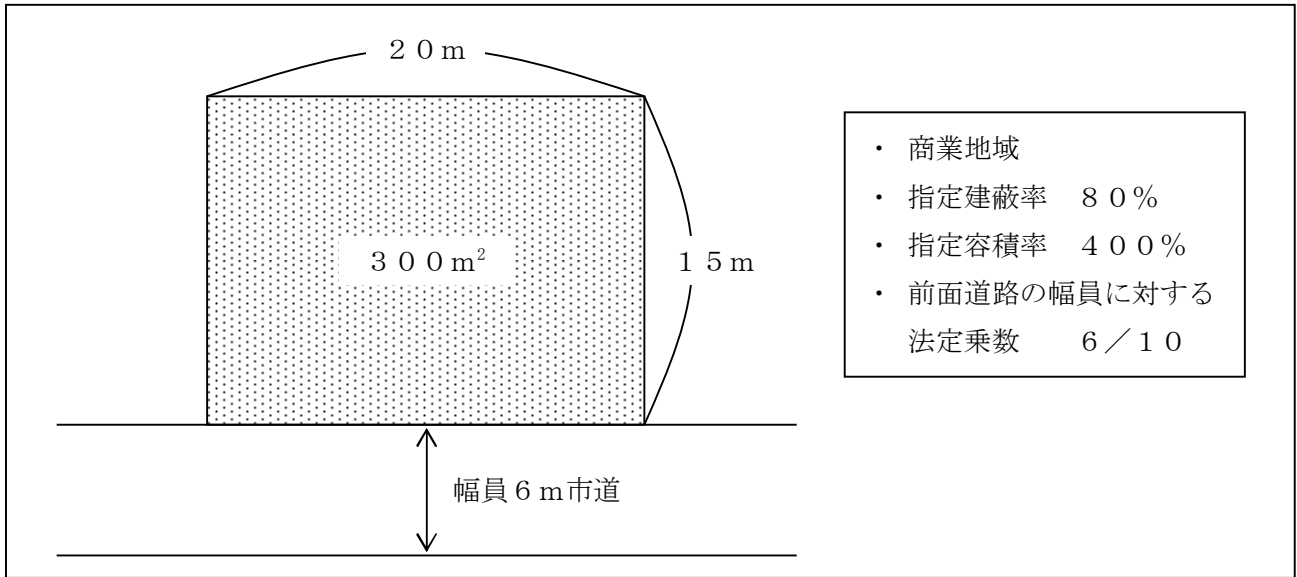
1. 株価収益率 (P E R) で比較した場合、S Z株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均 (予想ベース) より割安である。
2. 株価純資産倍率 (P B R) で比較した場合、S Z株式会社の株価は東京証券取引所市場第1部 (東証1部) 全銘柄の平均より割高である。
3. 配当利回りで比較した場合、S Z株式会社の配当利回りは東京証券取引所市場第1部 (東証1部) 全銘柄の単純平均 (予想ベース) より高い。

【第3問】下記の（問6）、（問7）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合、その土地に対する建築物の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>



1. $300\text{ m}^2 \times 80\% \times 6 / 10 = 144\text{ m}^2$
2. $300\text{ m}^2 \times 80\% = 240\text{ m}^2$
3. $300\text{ m}^2 \times 400\% = 1,200\text{ m}^2$

問7

土地の登記記録に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

<土地登記記録の構成>

土地登記記録	表題部	(ア)	
	権利部	甲区	(イ)
		乙区	(ウ)

1. 土地を最初を取得した者がする所有権保存登記は、(ア)に記録される。
2. 土地が売買により取得された場合、買主がする所有権移転登記は、(イ)に記録される。
3. 工場を建設する際に、金融機関から融資を受け、土地を担保として抵当権が設定される場合、抵当権設定登記は、(ウ)に記録される。

【第4問】下記の（問8）～（問10）について解答しなさい。

問8

唐沢敏和さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、敏和さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 ○○△△××□□	定期保険特約付終身保険		
保険契約者 唐沢 敏和 様	唐沢 敏和 様 契約年齢 37歳 1972年11月7日生 男性	保険契約者印 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 唐沢 </div>	◇契約日（保険期間の始期） 2010年3月1日 ◇主契約の保険期間 終身 ◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
受取人 （死亡保険金） 唐沢 文子 様（妻）	受取割合 10割		

◆ご契約内容 終身保険金額（主契約保険金額） 300万円 定期保険特約保険金額 1,500万円 特定疾病保障定期保険特約保険金額 1,000万円 傷害特約保険金額 500万円 災害入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から 日額5,000円 疾病入院特約 [本人・妻型] 入院5日目から 日額5,000円 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。 ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。 生活習慣病入院特約 入院5日目から 日額5,000円 リビング・ニーズ特約	◆お払い込みいただく合計保険料 毎回 ××,×××円 [保険料払込方法（回数）] 団体月払い ◇社員配当金支払方法 利息をつけて積立て ◇特約の払込期間および保険期間 10年
---	--

唐沢敏和さんが、2019年中に交通事故で大ケガを負い、給付倍率10倍の手術を受け、継続して10日間入院した場合、支払われる給付金は、合計（ア）である。

1. 3万円
2. 8万円
3. 10万円

問9

柴田さんは、地震保険についてFPの横川さんに質問をした。地震保険に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 地震保険は、住宅総合保険などの火災保険契約に付帯して契約する必要はなく、単独で契約することができる。
2. 地震により、居住用の建物に収容されている家財のうち、1個または1組の価額が30万円を超える骨とう品が損害を受けた場合、地震保険の補償の対象となる。
3. 噴火により、居住用の建物が大半損となった場合、地震保険の補償の対象となる。

問10

野村忠さんが契約している自動車保険の主な内容は、下記<資料>のとおりである。<資料>に基づく次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、いずれも保険期間中に損害が発生したものであり、運転者は忠さんである。また、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料>

保険種類	自動車保険
保険期間	1年
保険契約者	野村 忠
記名被保険者	野村 忠
対人賠償	無制限
対物賠償	無制限（免責金額なし）
人身傷害	1名につき1億円
車両保険	一般条件 180万円

1. 自動車を運転中に、他の自動車と衝突事故を起こし、忠さんが重傷を負った場合、人身傷害保険の補償の対象となる。
2. 自動車を運転中に、誤ってブロック塀に接触し、被保険自動車が破損した場合、車両保険の補償の対象となる。
3. 自動車を駐車場に駐車する際に、誘導中の妻に誤って車が接触し、ケガを負わせた場合、対人賠償保険の補償の対象となる。

【第5問】下記の（問11）、（問12）について解答しなさい。

問11

会社員の大下さんの2019年分の収入は下記＜資料＞のとおりである。大下さんの2019年分の給与所得の金額として、正しいものはどれか。なお、＜資料＞に記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

内容	金額
給料	580万円
賞与	170万円

＜給与所得控除額の速算表＞

給与等の収入金額		給与所得控除額
162.5万円 以下		65万円
162.5万円 超	180万円 以下	収入金額×40%
180万円 超	360万円 以下	収入金額×30%+ 18万円
360万円 超	660万円 以下	収入金額×20%+ 54万円
660万円 超	1,000万円 以下	収入金額×10%+ 120万円
1,000万円 超		220万円

1. 750万円
2. 555万円
3. 410万円

問 1 2

会社員の井上太一さんが、2019年中に支払った医療費等が下記<資料>のとおりである場合、太一さんの2019年分の所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、太一さんの所得は給与所得700万円のみであり、妻および長女は太一さんと生計を一にしている。また、医療費控除の金額が最も大きくなるよう計算すること。

<資料>

支払年月	医療等を受けた人	内容	支払金額
2019年2月	本人	人間ドック代(※1)	80,000円
2019年5月	妻	入院費用(※2)	230,000円 (うち差額ベッド料60,000円)
2019年7月	長女	健康増進のためのビタミン剤の購入代	10,000円

(※1) 人間ドックの結果、特に重大な疾患等は発見されなかった。

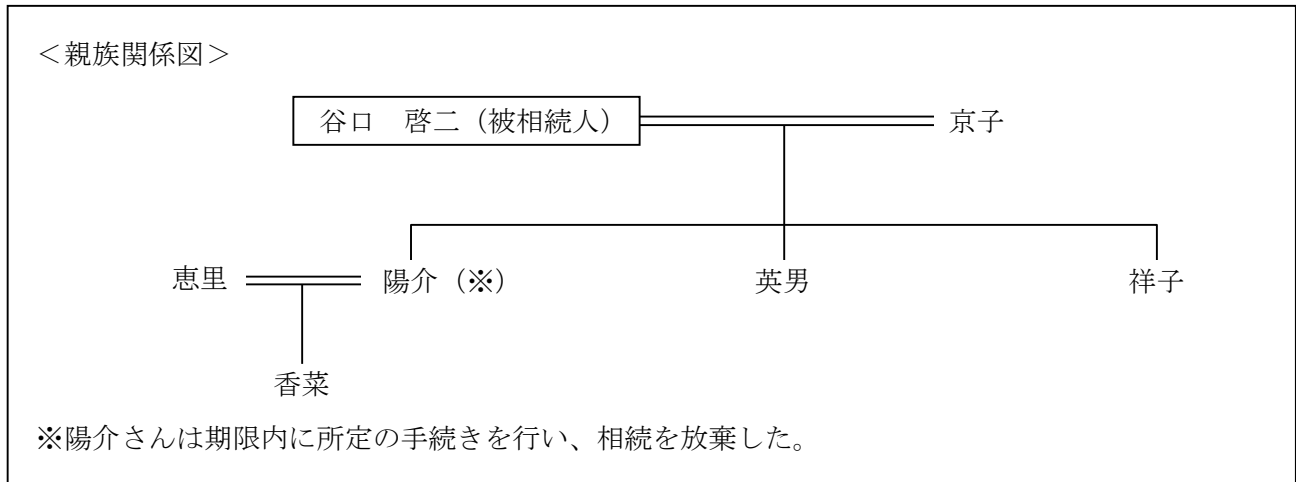
(※2) 保険金等により補てんされた金額はないものとする。また、自己の都合により差額ベッドを使用し、差額ベッド料を支払った。

1. 70,000円
2. 130,000円
3. 160,000円

【第6問】下記の（問13）～（問15）について解答しなさい。

問13

2019年9月2日に相続が開始された谷口啓二さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。



- 1. 京子 1/2 英男 1/4 祥子 1/4
- 2. 京子 1/3 英男 1/3 祥子 1/3
- 3. 京子 1/2 英男 1/6 祥子 1/6 香菜 1/6

問 1 4

大垣康夫さん（30歳）が2019年中に贈与を受けた財産の価額と贈与者は以下のとおりである。康夫さんの2019年分の贈与税額として、正しいものはどれか。なお、2019年中において、康夫さんはこれ以外の財産の贈与を受けておらず、相続時精算課税制度は選択していないものとする。

- ・ 康夫さんの父からの贈与 現金450万円
 - ・ 康夫さんの祖母からの贈与 現金100万円
- ※上記の贈与は、住宅取得等資金や教育資金、結婚・子育てに係る資金の贈与ではない。

<贈与税の速算表>

(イ) 20歳以上の者が直系尊属から贈与を受けた財産の場合

基礎控除後の課税価格		税率	控除額
200万円 以下		10%	—
200万円 超	400万円 以下	15%	10万円
400万円 超	600万円 以下	20%	30万円
600万円 超	1,000万円 以下	30%	90万円
1,000万円 超	1,500万円 以下	40%	190万円
1,500万円 超	3,000万円 以下	45%	265万円
3,000万円 超	4,500万円 以下	50%	415万円
4,500万円 超		55%	640万円

(ロ) 上記(イ) 以外の場合

基礎控除後の課税価格		税率	控除額
200万円 以下		10%	—
200万円 超	300万円 以下	15%	10万円
300万円 超	400万円 以下	20%	25万円
400万円 超	600万円 以下	30%	65万円
600万円 超	1,000万円 以下	40%	125万円
1,000万円 超	1,500万円 以下	45%	175万円
1,500万円 超	3,000万円 以下	50%	250万円
3,000万円 超		55%	400万円

1. 80万円
2. 67万円
3. 58万円

問 15

下記は、贈与税の配偶者控除の適用要件および控除額についてまとめた表である。下表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

対象となる贈与	居住用不動産の贈与または居住用不動産を取得するための金銭の贈与
婚姻期間の要件	贈与者である配偶者との婚姻期間が（ア）年以上であることが必要である。
申告要件	一定の事項を記載した贈与税の申告書を提出することが必要である。
控除額	基礎控除とは別に、最大（イ）万円が課税価格から控除される。

1. （ア） 10 （イ） 1,000
2. （ア） 10 （イ） 2,000
3. （ア） 20 （イ） 2,000

【第7問】下記の（問16）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

馬場誠さんは株式会社PKに勤める会社員である。誠さんは間もなく50歳を迎えることもあり、今後の生活設計についてFPで税理士でもある藤原さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2019年9月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
馬場 誠	本人	1971年8月 7日	48歳	会社員
陽子	妻	1973年5月10日	46歳	専業主婦
萌	長女	1999年6月16日	20歳	大学生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	650
定期預金	500
財形年金貯蓄	320
上場株式	240
生命保険（解約返戻金相当額）	80
不動産（自宅マンション）	2,800

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：1,900万円（債務者は誠さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 16

F P の藤原さんは、馬場家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜馬場家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××		
財形年金貯蓄	×××	負債合計	×××
上場株式	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××	[純資産]	（ア）
不動産（自宅マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 2,370（万円）
2. 2,610（万円）
3. 2,690（万円）

問 17

誠さんは、60歳で定年を迎えた後、その後公的年金の支給が始まる65歳までの5年間の生活資金に退職一時金の一部を充てようと考えている。仮に退職一時金のうち700万円を年利2.0%で複利運用しながら5年間で均等に取り崩すこととした場合、年間で取り崩すことができる最大金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	減債基金係数	現価係数	資本回収係数
5年	0.19216	0.9057	0.21216

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 1,485,120円
2. 1,345,120円
3. 1,267,980円

問18

誠さんは、住宅ローンの繰上げ返済について、FPの藤原さんに質問をした。住宅ローンの繰上げ返済に関する藤原さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「繰上げ返済は、現に返済しているローンの利息部分を返済するものです。」
2. 「毎月の返済額は変えずに、返済期間を短縮する方法を『期間短縮型』といいます。」
3. 「最低返済額や繰上げ手数料は、金融機関によって異なります。」

問19

誠さんは、個人型確定拠出年金（以下「iDeCo」という）について、FPの藤原さんに質問をした。iDeCoに関する藤原さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「国民年金の第3号被保険者である陽子さんは、iDeCoの加入対象者となります。」
2. 「iDeCoに加入した場合、支払った掛金は、生命保険料控除として所得控除の対象となります。」
3. 「受給権が発生する年齢に到達すると、老齢給付金は年金として受け取ることができるほか、一時金として受け取ることもできます。」

問20

誠さんは、通常65歳から支給される老齢基礎年金を繰り上げて受給できることを知り、FPの藤原さんに質問をした。老齢基礎年金の繰上げ受給に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、老齢基礎年金の受給要件は満たしているものとする。

1. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額の減額は、一生涯続く。
2. 老齢基礎年金を繰上げ受給した場合の年金額は、繰上げ月数1月当たり0.5%の割合で減額される。
3. 老齢基礎年金を60歳から繰上げ受給した場合、老齢厚生年金を同時に繰上げ受給する必要はない。